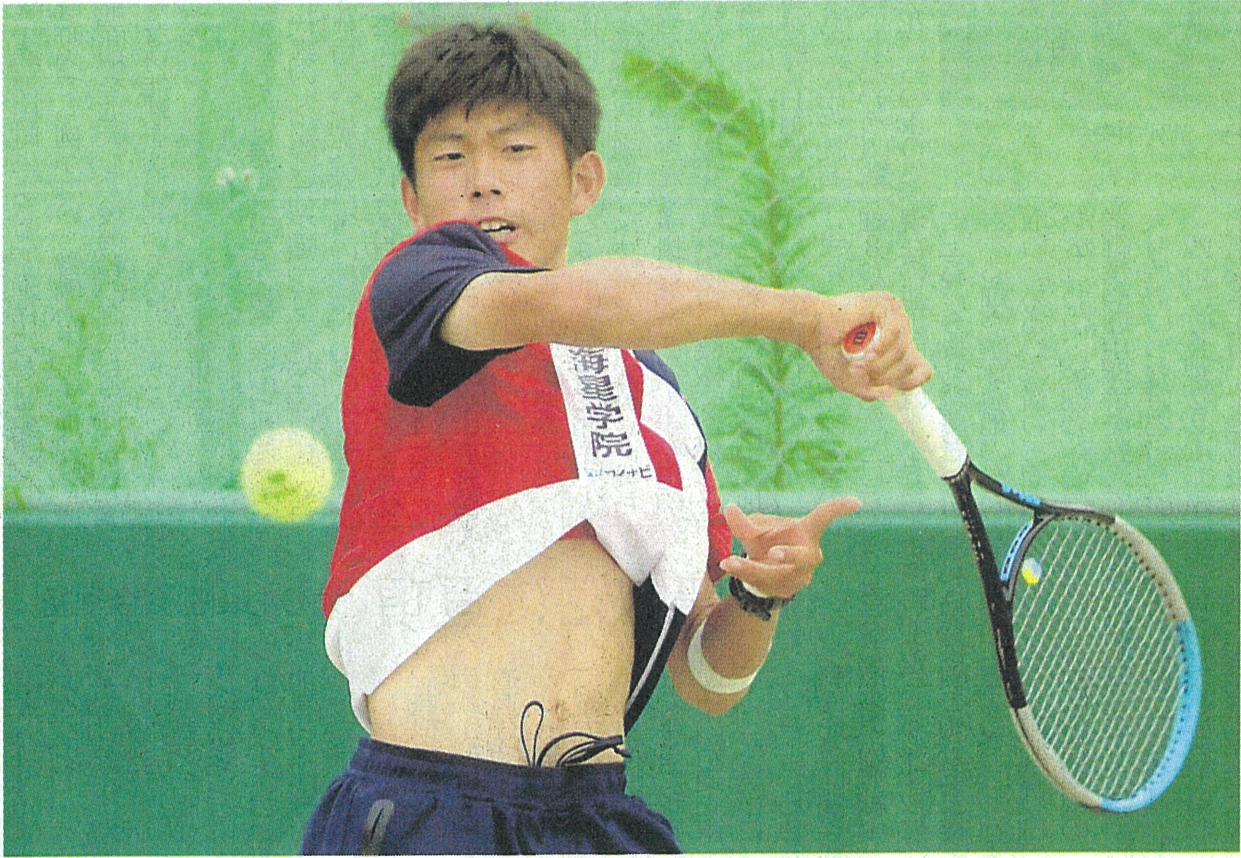


2022年(令和4年)5月18日(水曜日)

小笠原選手、米強豪大へ

テニス 室蘭・海星学院高出身



米強豪大学への進学が決まった海星学院高出身の小笠原選手

高校テニスで活躍し、室蘭の海星学院高を今春卒業した小笠原陸選手(18)は札幌市出身だが、ハワイパシフィック大へ進学することが決まった。全米最大の大学体育協会「NCAA」のカテゴリー「D1」に所属する強豪。世界中の猛者が集う舞台を前に高揚し、「ここで終わりたい。さらに上を目指す」と力を込めている。

(野田篤志)

◇ NCAAには1100校が加盟。ディビジョンは組織規模やレベルにより1〜3に分けられている。一流選手が集うD1とD2は狭き門。バスケットボールでは八村塁選手がD1で活躍し、上位指名でNBA入りを果たした。

最新ランキングによると、ハワイパシフィック大は約300校が加盟するD2で2番目の強豪。NCAA以外の大学体育協会も含めた全米大学ランキングで現在94位と、強豪ひしめくD1(約300校)の上位校と肩を並べる存在だ。

小学1年から競技を始めた小笠原選手。海星に進学した

狭き門、チャンスつかむ

のは、中2の時に菊地竜平総監督に指導を受けたのがきっかけ。「人間としても大きく成長できた」と感謝する。高校総体道予選では団体戦初優勝に導き、52年続いていた札幌「一強」の勢力図に風穴を開けた。

高校では抜群の成績を残した。国際テニス連盟公認の18歳以下大会「アイ・スギヤマカップ」でダブルス準優勝。ダンロップ・ジャパンオープンジュニア選手権大会では世界ジュニアランキングを獲得した。

さらにプロ選手も出場する国内3番目の格付け大会「ウチヤマカップ」には主催者推薦で出場を果たすなど、実力が同大のヘッドコーチに認められた。

米国での目標は大きい。9月に入学するが「まずはチームの主力を勝ち取る」。今まで以上に勉強とテニスを両立し、1年目から試合に出る。2年目にはD1上位校への移籍も視野に入れる。

菊地総監督は「自分を持つている」と愛弟子を評価。「NCAA上位校に進学できるのは全国でも数人。スポーツを通じ選択肢を広げた価値は大きい」とし、「目標を実現させ、後輩にその姿を見せてほしい」と期待している。